



## 2 研究内容1「子どもが社会とのかかわりを深める教材開発」について

### (1) 研究内容1-①「社会に対する関心を高める教材の選定」

本小単元の内容について学習指導要領では、「地域の人々の生産について、『自分たちの生活を支えていること』『仕事の特色及び他地域とのかかわり』を見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。」と記載されている。そこで、本小単元では旭川市で製餡業を営んでいる福居製餡所を教材として選定する。

本工場は、旭川市内の菓子店をはじめ、道内外に餡製品を幅広く供給している。また、学校給食のあんパンにも本工場の餡が使われている。

消費者や菓子店の要望に合わせ、年間300種類もの餡を製造している。また、地産地消を掲げ、地域の農家の思いと地域で収穫された小豆を大切に考えながら、消費者に餡を広めようと努力している。以上のことから、自分たちの食生活を支えている本工場の取組は児童の共感的理解につなげることができる教材であると考えられる。

さらには、原料の小豆を教材園で栽培する学習活動(総合的な学習の時間)においては、出前授業を行ったり、小豆の苗や収穫した小豆の穂を学校に提供したりと、学校教育に対し大変協力的であり、学習を充実させる可能性をもっている。

#### ■福居製餡所のストロングポイント



学校給食で児童が食べている。

旭川市内の菓子店を始め、道内外に広く餡製品を供給している。

消費者や菓子店のニーズに応えた餡製品の製造を工夫して行っている。

地域のことを考え、地域産の小豆を大切にしている。

消費者に餡や地域の小豆を広めようと努力をしている。

学校教育に対して協力的である。

### (2) 研究内容1-②「小中7年間を見通した身に付けるべき知識・技能の明確化」

学習指導要領では、「学習を通して、地域の生産や販売の仕事に携わっている人々の工夫を考えることができるようにする」と記載されている。そこで、中核(考えて導き出す知識)を「福居製餡所は、上川産『しゅまり』を使った餡のおいしさを消費者に伝えるために、様々な工夫をして製造・出荷・販売をしている。」とおさえる。

また、これらを導き出すために必要となる基本要素(調べて身に付く知識)として、以下の3点をおさえる。

「旭川近郊の豊かな大地で作られた小豆『しゅまり』を原料として使うことで味のよい餡を作っている。」

「原料『しゅまり』を大切に扱いながら、機械と人の力を合わせて安心・安全な餡を300種類作っている。」

「北海道各地や本州でも、宅配便などを活用して『しゅまり』を原料とした餡や羊かんなどの餡製品を多数出荷し、販売している。」

これら3つの基本要素を、「上川産『しゅまり』に対する思い」という視点を通して考えさせることで中核に迫る。

#### ■身に付けるべき知識

福居製餡所は、上川産「しゅまり」を使った餡のおいしさを消費者に伝えるために、様々な工夫をして製造・出荷・販売をしている。

上川産「しゅまり」に対する思い

味のよい餡を作るための原料「しゅまり」の選定

原料「しゅまり」を大切に扱い、安心・安全な餡製品を大量に作るための機械と人の手による工夫

「しゅまり」を原料とした様々な種類の餡製品を宅配便などを活用して他地域に多数出荷、販売

### 3 研究内容2 「子どもが主体的・協働的に追究する学習展開」について

#### (1) 研究内容2-① 「学習問題と向き合いながら、主体的に追究する単元構成」

##### ■ 「つかむ」場面での工夫

他教科とのかかわりにおいて、小豆の栽培・観察を行う。さらに社会的事象を身近に感じさせるため、実際に収穫した小豆を使って餡作り体験を行う。

その餡と、福居製餡所で作られた餡を食べ比べることで、質のよさを実感させる。さらに、旭川市ではたくさんの菓子店が福居製餡所で作った餡を使用しているという事実を地図資料を用いて知らせる。「たくさんの菓子店で使われている＝お客さんに好かれている」という事実から、「福居製餡所では、どのようにしてたくさんのお客さんに好かれる餡を作っているのだろう。」という学習問題を設定する。

##### ■ 「調べる」場面での工夫

工場を見学する際には、「見ること」「聞くこと」を意識させて取り組ませる。また、「働いている人」や「機械」「作り方」など、調べる観点を絞ってグルーピングをすることで、主体的に社会的事象を追究させる。

##### ■ 学習問題と向き合う単元構成

###### □つかむ

- ・自作の餡と福居製餡所の餡との比較と地図資料を基にした「学習問題の設定」

###### □調べる

- ・調べる観点を明確にしての見学

###### □まとめる

- ・観点を与え、掲示物などを用いて工夫や努力をまとめる「学習問題のまとめ」

###### □深く考える

- ・これまで調べてきたことにはなかった新しい事実からつなげる「新たな問い」
- ・地域に対する思いに迫る「新たな問いに対するまとめ」

#### (2) 研究内容2-② 「社会的事象の意味や特色、相互の関連について協働的に考える授業構成」

##### ■ 「問いをもつ場」での工夫

福居製餡所が1年半かけて新開発した商品「あんジャム」を資料1として提示する。この資料を通して、すでに多くの消費者に好かれる餡を作っているにも関わらず、なぜ新しい商品を開発しているのかという疑問に導く。

##### ■ 「考えをつなぎ、深める場」での工夫

問いに対する児童の考えをより深いものにするために、餡を広めたいという社長の思いを知らせるインタビュー動画を資料2として提示する。その上で「どんな餡を広めたいのか。」と視点を絞った発問をすることで、既習内容を基にした説得力のある考えをもたせる。なお、学習形態を変えて説明し合うことで児童の考えを深めていく。

さらに、新たな事実として「しゅまり」の名がパッケージに記された数種類の製品を資料3として提示する。その際、「しゅまり」の文字の部分は隠しておく。話し合いを通して、福居製餡所は「しゅまり」を使った餡のおいしさを消費者に伝えたいという核心へと迫らせていく。

##### ■ 協働的に考える授業

###### □問いをもつ場

- ・資料1「あんジャム」から、福居製餡所が新しい商品を開発・製造しているという新しい事実を知る。
- ・本時の問いを設定する。

###### □考えをつなぎ、深める場

- ・資料2「インタビュー動画」を通して既習内容を基に個人で考える。
- ・ペア、全体で考えを説明し合う。
- ・資料3「原料名『しゅまり』が記載された 餡製品」を提示し、餡作りに対する思いについて考え、話し合う。

###### □答えをまとめる場

- ・自分の言葉で「問い」に対するまとめをする。

###### □学びを振り返る場

- ・生活と結び付けた振り返りをする。

## 4 単元の目標

自分たちの生活を支えている福居製餡所に従事している人々の仕事の様子や、他地域などのかかわりについて見学・調査したり、資料を活用したりして調べ、地域の原料を大切にしながら質がよく、安全な餡作りをする工夫について考えるようにする。

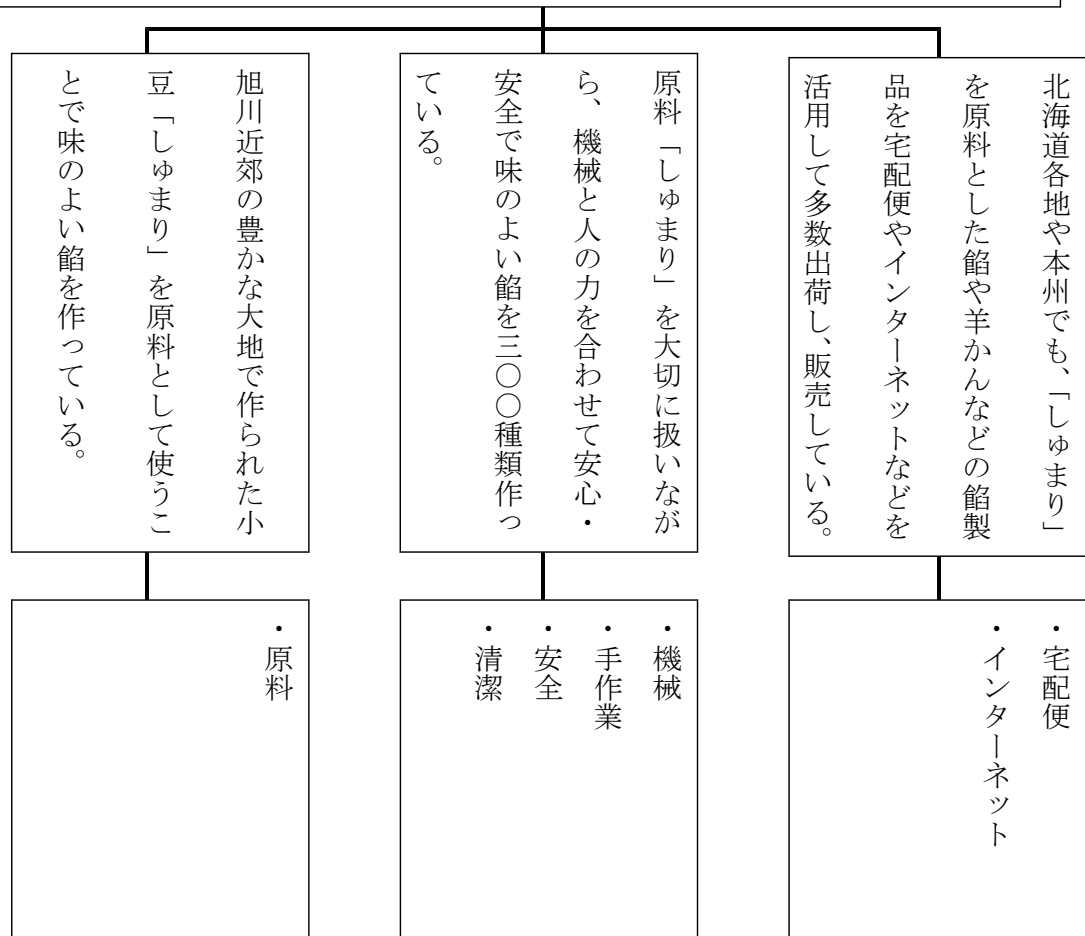
## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>福居製餡所に従事している人々の仕事の様子について理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>福居製餡所の仕事の様子について、見学・調査や各種資料を活用して必要な情報を集め、読み取っている。</p>	<p>福居製餡所が上川産「しゅまり」を使った餡を広めようとしていることを学習を通して考え、適切に表現している。</p>	<p>福居製餡所が消費者に好まれる餡作りをしていることについて、問いや解決の見通しをもって、主体的に調べたり分かろうとしたりしている。</p>

## 6 知識の構造図

【中核】  
 考えて導き出す  
 【基本要素】  
 調べて身に付く知識

福居製餡所は、上川産「しゅまり」を使った餡のおいしさを消費者に伝えるために、様々な工夫をして製造・出荷・販売をしている。



## 7 7年間の学習内容のつながり

「我が国の工業生産」について人々や地域間のかかわり、自然環境、歴史的背景から見た場合

<p><b>中学校</b> 地理的分野 【日本の諸地域の特色】 「九州地方～環境問題と環境保全を中心に考えよう」 ⑤煤煙の街からエコタウンへ (教育出版 P170～171) ・九州地方の工業生産の特色と公害の発生、エコタウン事業について理解する。 ・北九州市を例に、公害とその克服の取り組みについて考える。</p>	<p><b>中学校</b> 地理的分野 【日本の諸地域の特色】 「近畿地方～歴史的背景を中心に考えよう」 ③阪神工業地帯の発展と課題 (教育出版 P192～193) ・阪神工業地帯における工業の特色やその歴史的な変化を理解する。 ・東大阪市を例に、地域のものでづくりの特色について考える。</p>	<p><b>中学校</b> 地理的分野 【日本の諸地域の特色】 「中部地方～産業を中心に考えよう」 ②日本経済をリードする工業地域 (教育出版 P202～203) ・中京工業地帯と東海工業地域には、自動車などの機械工業が発達しており、地域経済を支えていることを理解する。 ・豊田市の自動車産業を例に合理化された生産体制などについて考える。</p>	<p><b>中学校</b> 地理的分野 【日本の諸地域の特色】 「関東地方～他地域との結びつきを中心に考えよう」 ④東京湾岸から内陸地域へ (教育出版 P218～219) ・関東地方は、日本で最も工業の発達した地方であり、東京湾岸地域から内陸地域へと拡大してきたことを理解する。 ・工業地域の拡大の理由を用地や労働力、交通網の発達と関連付けて考える。</p>
---	--	---	---



<p><b>小学校</b> 第5学年【我が国の工業生産】 「わたしたちの生活と工業生産」(東京書籍 下 P2～57) ・我が国の工業生産について、様々な工業製品が国民生活を支えていること、各種工業生産や工業地域の分布、自動車生産に関わって従事している人々の工夫や努力・貿易や運輸などの働きについて調べる。 ・我が国の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える。</p>
--



<p><b>小学校</b> 第3学年【地域の人々の工業製品の生産に関する仕事】 「工場の仕事～福居製館所～」(本小単元) ・福居製館所の館作りの仕事が自分たちの生活を支えていることや仕事の特色、国内の他地域などのかかわりを調べる。 ・福居製館所に携わっている人々の館作りに対する思いを通して工夫を考える。</p>
--

## 8 単元で身に付ける技能

	身に付ける技能	観察・調査, 活用する資料	調べる内容
第3時 第4時 第5時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点に基づいて観察する。</li> <li>・周りの諸条件と関係付けて観察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場見学</li> <li>・工場働いている方への聞き取り調査</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 見て調べること <ul style="list-style-type: none"> <li>・作り方 ・機械 ・仕事の様子</li> <li>・働いている人の服装</li> </ul> <input type="checkbox"/> 聞いて調べること <ul style="list-style-type: none"> <li>・原料 ・製品の流通・販売</li> <li>・大量生産する工夫</li> <li>・働いている人の数</li> <li>・気を付けていること</li> </ul>

9 単元構成

※**知技**…知識・技能 **思**…思考力・判断力・表現力 **主**…主体的に学習に取り組む態度

過程	時	学習活動	評価規準と評価方法			
つかむ	<p>① <b>【事象との出会い・学習問題の設定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 餡作りを体験したときの感想を交流する。</li> <li>○ 自分たちで作った餡と、福居製餡所で作られた餡を食べ比べたときのことを想起し、気付いたことを交流する。</li> <li>○ 旭川市で福居製餡所の餡を使用している菓子店が記されている地図を見て、学習問題をつくる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【学習問題】</b> 福居製餡所では、どのようにしてたくさんのお客さんに好かれる餡を作っているのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の振り返りをする。</li> </ul> <p>② <b>【問題解決への見通し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習問題に対して予想をする。</li> <li>○ 工場見学において、調べたいことや疑問に思ったことを基に学習計画を立てる。</li> <li>○ 写真を使っておおよその工程を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>■ 調べる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原料</li> <li>・ 働く人の様子</li> <li>・ 製造の仕方</li> <li>・ 出荷・販売</li> </ul> <p>■ 調べ方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場見学</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の振り返りをする。</li> </ul>	<p><b>主</b> 福居製餡所の様子についての学習問題を主体的に考え、表現している。</p> <p>【ノート、発言】</p> <p><b>主</b> 福居製餡所の様子について主体的に予想し、表現している。</p> <p>【ノート、発言】</p>				
調べ	<p>③ <b>【「事実」の追究活動】</b></p> <p>④ ○ 見通しに基づいて工場の見学・調査や資料を活用して調べる。</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p><u>原料</u> 北海道上川地方の豊かな自然で栽培された小豆「しゅまり」を使うことで、おいしい餡を作っている。</p> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p><u>製造の仕方</u> 原料「しゅまり」を大切に扱いながら、機械と人の力を合わせておいしい餡を300種類作っている。</p> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p><u>働く人の様子</u> 服装を清潔にするなど、衛生面に気を付けて「しゅまり」を大切に扱うことで、安心・安全な餡を作っている。</p> </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> <p><u>出荷・販売</u> 旭川だけではなく、北海道や全国各地に、原料「しゅまり」の文字がパッケージに書かれた、たくさんの餡製品を出荷・販売している。</p> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べたことを交流する。</li> <li>○ 学習の振り返りをする。</li> </ul>	<p><u>原料</u> 北海道上川地方の豊かな自然で栽培された小豆「しゅまり」を使うことで、おいしい餡を作っている。</p>	<p><u>製造の仕方</u> 原料「しゅまり」を大切に扱いながら、機械と人の力を合わせておいしい餡を300種類作っている。</p>	<p><u>働く人の様子</u> 服装を清潔にするなど、衛生面に気を付けて「しゅまり」を大切に扱うことで、安心・安全な餡を作っている。</p>	<p><u>出荷・販売</u> 旭川だけではなく、北海道や全国各地に、原料「しゅまり」の文字がパッケージに書かれた、たくさんの餡製品を出荷・販売している。</p>	<p><b>知技</b> 福居製餡所の様子について、見学・調査や各種資料を活用して必要な情報を集め、読み取っている。③～⑤</p> <p>【ワークシート】</p> <p><b>知技</b> 福居製餡所に従事している人々の仕事の様子について理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>⑥ <b>【ノート、発言】</b></p>
<p><u>原料</u> 北海道上川地方の豊かな自然で栽培された小豆「しゅまり」を使うことで、おいしい餡を作っている。</p>	<p><u>製造の仕方</u> 原料「しゅまり」を大切に扱いながら、機械と人の力を合わせておいしい餡を300種類作っている。</p>	<p><u>働く人の様子</u> 服装を清潔にするなど、衛生面に気を付けて「しゅまり」を大切に扱うことで、安心・安全な餡を作っている。</p>	<p><u>出荷・販売</u> 旭川だけではなく、北海道や全国各地に、原料「しゅまり」の文字がパッケージに書かれた、たくさんの餡製品を出荷・販売している。</p>			

過程	時	学習活動	評価規準と評価方法
まとめ	⑦	<p><b>【「事実」から「意味」へつなげる追究活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「原料」「製造の仕方」「安心・安全」の観点で、仕事の様子について、共通点から工夫を考える。</li> <li>○学習問題に対する答えを自分でまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【学習問題に対するまとめ】</b></p> <p>福居製館所では、地域で採れた「しゅまり」を使い、機械と人の力を合わせながら、安心・安全でおいしい館を作ることで、たくさんのお客さんに好かれている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の振り返りをする。</li> </ul>	<p>☑福居製館所に従事している人々の仕事の様子について、見学・調査したことを基に共通点を考え、適切に表現している。</p> <p>【ノート、発言】</p>
深く考える	⑧ (本時)	<p><b>【「意味」の追究活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料1から福居製館所が新しい館製品を開発・製造している事実を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【新たな問い】</b></p> <p>なぜ、福居製館所はすでにたくさんのお客さんに好かれる館を作っているのに、「あんジャム」を作ったのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料2を通して、既習内容を基に考えをもつ。</li> <li>○考えを交流し、おおよその答えを見いだす。</li> <li>○資料3から地域の小豆を大切にしていることを読み取り、明確な答えに迫る。</li> <li>○問いに対する答えを自分でまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【新たな問いに対するまとめ】</b></p> <p>福居製館所は、上川産「しゅまり」を使った館のおいしさをお客さんに伝えたいと思っているから。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の振り返りをする。</li> </ul>	<p>☑福居製館所が上川産「しゅまり」を使った館のおいしさを消費者に伝えようとしている思いを既習内容や追加資料を基に考え、適切に表現している。</p> <p>【ノート、発言】</p>
	⑨	<p><b>【「意味」の追究活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福居製館所の館のよさを伝えるための方法を考え、ポスターなどを作成する。</li> <li>○単元を通じた学習の振り返りをする。</li> </ul>	<p>☑福居製館所が上川産「しゅまり」を使った館のおいしさを消費者に伝えようとしている思いを適切に表現している。</p> <p>【ノート、作成物】</p>

**【他教科・他領域とのかかわり】**

- 理科の学習において、学校園で小豆「しゅまり」を栽培し、観察する学習を行う。その際、福居製館所の社長を招いて、種の植え方や栽培方法を学習する。
- 総合的な学習の時間において、栽培・収穫した小豆「しゅまり」を用いて館作りを体験する。

## 10 本時の授業構成

### (1) 目標

福居製餡所が上川産「しゅまり」を使った餡のおいしさを消費者に伝えようとしている  
 思いを既習内容や追加資料を基に考え、適切に表現できるようにする。

(思考力・判断力・表現力)

### (2) 展開

過程	学習活動	教師のかかわり	学習評価
問いをもつ場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習問題のまとめを確認する。</li> <li>○資料1から、福居製餡所が新しい餡製品を開発・製造している事実を知る。</li> <li>○本時の問いを把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料1を提示する。 (「あんジャム」の実物)</li> <li>○本時の問いを提示する。</li> </ul>	
	なぜ、福居製餡所はすでにたくさんのお客さんに好かれる餡を作っているのに、「あんジャム」を作ったのだろう。		
考えをつなぎ 深める場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問いに対する考えをもつ。 「売りたいから。」 「新しい餡製品を多く食べてほしい。」 「『しゅまり』を使って何か新しい物を作りたかったから。」</li> <li>○資料2から、福居製餡所は餡をいろいろな人に広めたいと思っていることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料2を提示する。 (社長のインタビュー動画)</li> </ul>	
	福居製餡所は、どのような餡を広めたいと思っているのだろう。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習内容を基に問いに対して考えをもつ。</li> <li>○ペア、全体で考えを説明し合う 「機械と人が力を合わせて作ったおいしい餡を広めたい。」 「地域で採れたよい原料『しゅまり』を使った餡を広めたい。」 「清潔な服装で作った安全な餡を広めたい。」</li> <li>○資料3からどの餡製品にも「原料名：しゅまり」が書かれていることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工場見学をしたことをまとめた掲示物を見ながら考えさせる。</li> <li>○問い返しをすることで考えをまとめていく。</li> <li>○学級としてのおおよその答えをまとめていく。</li> <li>○資料3を提示する。 (餡製品)</li> <li>○問い返しをすることで中核に迫る答えを導いていく。</li> <li>○まとめのときに用いさせたい語句を強調した板書にする。</li> </ul>	



過程	学習活動	教師のかかわり	学習評価
答えをまとめる場	○問いに対する答えを自分でまとめ、全体で交流する。  福居製餡所は、上川産「しゅまり」を使った餡のおいしさをたくさんのお客さんに伝えたいと思っているから。		☒福居製餡所が上川産「しゅまり」を使った餡のおいしさを消費者に伝えようとしている思いを既習内容や追加資料を基に考え、適切に表現している。  【ノート、発言】 ※見取りの具体は、 (3) 評価の具体参照
学びを振り返る場	○福居製餡所の思いを学習して、学習の振り返りを書き、全体で交流する。 「福居製餡所が地域のことを考えて餡作りを頑張っていることを知って、すごいと思った。」 「福居製餡所の餡のよさをもっとたくさんの人に知ってほしい。」 ○社長からのインタビュー動画を見せ、次時の活動につなげる。	○「思い」を学んでどう感じたかという視点で書くという条件を与えてから学習の振り返りに取り組ませる。	

### (3) 評価の具体

#### ◎十分満足できる状況 (A)

「福居製餡所は、上川産「しゅまり」を使った餡のおいしさをたくさんのお客さんに伝えることで、『しゅまり』のよさを知ってほしいと思っているから。」

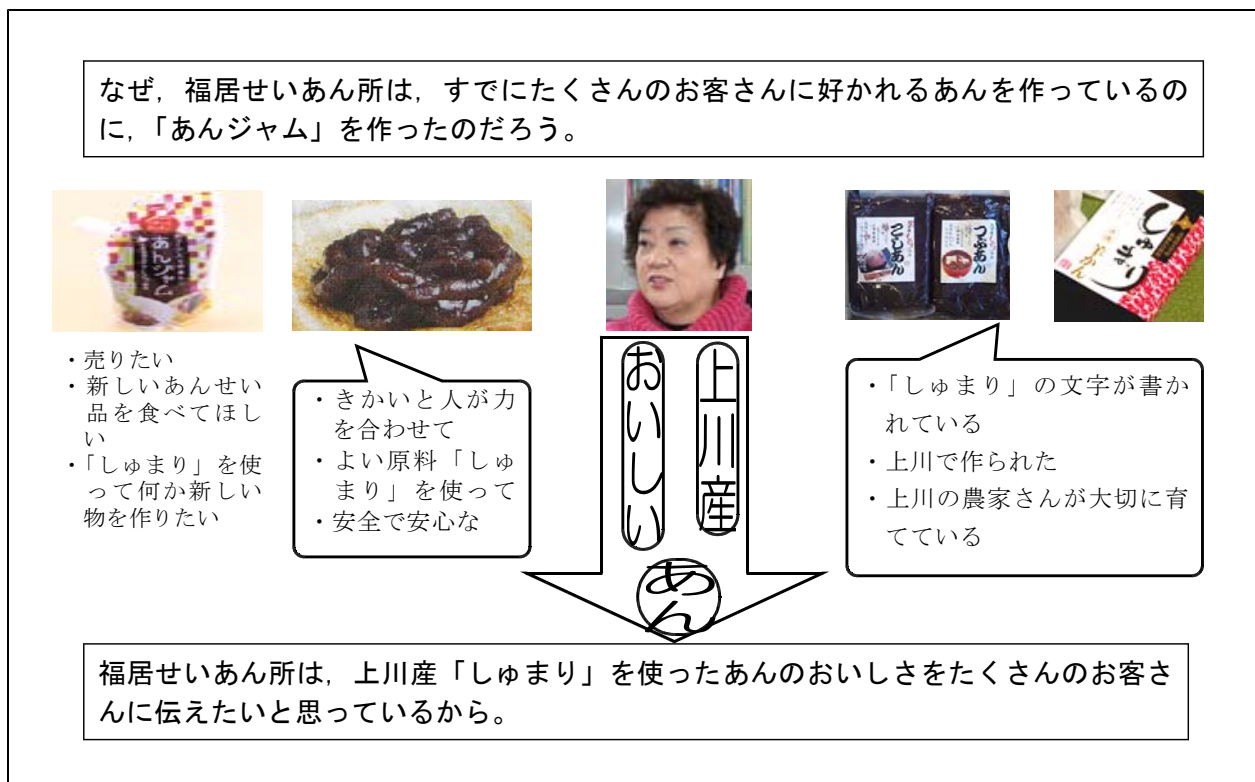
#### ○おおむね満足できる状況 (B)

「福居製餡所は、上川産『しゅまり』を使った餡のおいしさをたくさんのお客さんに伝えたいと思っているから。」

#### △努力を要すると判断される児童に対する具体的な手立て

- ・資料3の共通点「しゅまり」に注目させるとともに、まとめの定型文を示す。

#### (4) 板書計画



#### (5) 活用する資料

	資料の主な内容	提示の仕方と工夫	活用させるときの視点
資料1 実感的側面に関する資料	・「あんジャム」の実物	・新しい事実として提示し、問いにつながるようにする。	・児童の素直な疑問につながるようにする。
資料2 共感的側面に関する資料	・福居製餡所の社長のインタビュー動画	・餡を多くのお客さんに広めたいという思いを簡潔に話した動画を見せる。	・「餡を多くのお客さんに広めるために」新製品を開発したのだという思いに気付かせる。
資料3 実感的側面に関する資料	・「しゅまり」の原料名が書かれている餡製品の実物	・原料名の部分を隠して提示する。	・福居製餡所が地域の原料を大切に餡づくりをしているという思いに気付かせる。

### 11 教材開発に関する参考文献・参考ホームページ、取材先など

#### □参考文献・ホームページ

- ・『北海道新聞』（北海道新聞社 2015年12月19日 朝刊）
- ・上川総合振興局 [http://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/086\\_fukui.htm](http://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/086_fukui.htm)
- ・北海道新聞旭川支社 [http://asahikawa.hokkaido-np.co.jp/n\\_interview/20040702/](http://asahikawa.hokkaido-np.co.jp/n_interview/20040702/)

#### □取材先

- ・株式会社福居製餡所 旭川市2条通20丁目左9号